

基本目標Ⅰ 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進**推進項目**

- (1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出
- (2) 子どものスポーツ活動の推進
- (3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (4) 障がい者のスポーツ活動の推進

施策の実施内容 (DO) 及び評価 (CHECK)

- ・スポーツ推進委員会主催の「第4回ニュースポーツ大会(カローリング、フロアカーリング)」を開催し、地域住民の「する」「ささえる」スポーツ機会の創出に取り組んだ。スポーツ少年団本部では、子ども達の大会参加の機会を確保するため、感染症対策を徹底の上、各専門部会が主体となって「酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会」を開催した。
- ・最新の測定機器(モーションキャプチャ)を用いて、子ども達一人ひとりの運動能力を測定する「スポーツ能力測定会」を民間主催で開催した(県内では初開催)。
- ・コロナ禍における市民の運動不足や免疫力の低下に伴う健康二次被害を解消し、スポーツ実施率を向上させることをねらいとして、スマートフォンのアプリを活用した民間主催の「ラン&ウォーク」イベントに酒田市として自治体参加を行った(参加者数/ウォーキングの部:山形県2,204人(うち酒田市80人)、ランニングの部:山形県881人(うち酒田市67人))。

施策としての現状評価

- ・地域のスポーツ振興を担う体育振興会、スポーツ推進委員会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの活動を推進することは、幅広い年齢層にスポーツを楽しんでもらうために有効な手段である。

改善の内容 (ACTION) / 令和4年度以降の計画 (PLAN)

- ・多くの子どもたちがスポーツの楽しさを知り、日常的にスポーツに取り組む習慣を付けさせながら、健全な心身の育成を図るため、引き続き事業に取り組む。
- ・コロナ禍における子どもの体力向上と運動やスポーツが楽しいと感じる子どもを増やすことなどを目的に、東北公益文科大学と連携した事業に取り組む。
- ・運動好きな子どもを増やし、何事にもチャレンジしていく子ども達を支援していく事業として、昨年度、民間主催で実施した「スポーツ能力測定会」を市主催事業として取り組んでいく。
- ・昨年度に引き続き、スマートフォンのアプリを活用した民間主催の「ラン&ウォーク」イベントに酒田市として参加し、コロナ禍における市民の運動不足や免疫力の低下に伴う健康二次被害を解消して、スポーツ実施率向上につなげていく。
- ・コロナ禍で高まった健康志向を活かし、関係団体とも連携してニュースポーツ(モルック等)の普及に努め、スポーツ活動の充実等に取り組んでいく。また、昨年度末にスポーツ

推進委員会で実施した、スポーツ義足の装着体験とパラアスリートの講演会等を継続的に開催して、共生社会の中で障がい者スポーツへの理解を深めていく。

数値目標

KPI		指標値 (R6)	現状値	現状値 (R3)
		成人の週1回以上のスポーツ実施率	50% (R11 60%)	H29 31%
	子ども(小学生)のスポーツ実施率	56% (R11 60%)	R元 51.4%	48.7%
	スポーツ行事への参加者数	37,700人 (R11 38,000人)	H28 36,180人	21,075人

関連事業

No.	事業名	指標			事業費(千円)	
		指標名	単位	R2年度	R3年度(決算)	
				R3年度	R4年度(予算)	
1	スポーツ推進委員会 研修活動	スポーツ行事への 参加者数	人	11,327 21,075	6,462 6,017	
(事業概要) ○市が委嘱するスポーツ推進委員の資質向上を図るため、各種研修を行い、地域における「コーディネーター・指導者」として、地区体育振興会と協力しながら各地区のスポーツ振興を図る。						
2	スポーツ少年団活動 事業	スポーツ少年団 団員数	人	1,387 1,398	2,162 3,262	
(事業概要) ○スポーツ少年団本部負担金 ・本部大会 各競技種目の内、市内で5団以上の登録がある種目の大会を県スポーツ少年団交流大会の予選会として位置づけて開催する。 ※野球、卓球、バレーボール、バスケットボール、剣道、サッカーの6競技の大会。 ・指導者講習会 ・技術指導講習会 ・酒田遊佐交流大会 ・会報作成 ほか						